

未来につなぐレール

あなたの利用でレールはつながる

くま川鉄道の開業から30年。大正13年の旧国鉄湯前線開業から数えると、100年近く走り続けているこの鉄道は、これまで多くの人たちを運び、乗った人の数だけさまざまなドラマを生み出しています。

鉄道は各駅間の地域をつなぐことで、行かないと分からないその土地の魅力を知ることができ、車内や降りた土地で人との交流が生まれ、かつて利用していた頃を思い出し、時の流れを感じることが出来ます。これこそが鉄道の魅力です。

現在、くま川鉄道では、一人でも多くの人に乗ってもらうため、さまざまな魅力づくりに取り組みんでいます。しかし、利用者が増えない課題を抱えている事実は変わっていません。この鉄道を守り、次の世代に残していくためには、人吉球磨地域、皆さんの協力が必要です。

まずは、くま川鉄道を利用することから始めてみませんか？あなたの乗車や思いが、鉄道と地域の未来をつくっていくはず



くま川鉄道で乗車を楽しむ中村さん親子（五木村）

くま鉄30周年記念企画！

来年10月1日で開業30周年を迎えるくま川鉄道株式会社では、30周年記念としてことし10月1日からさまざまな企画を計画しています。この機会に家族や友人と一緒にくま川鉄道に乗ってみませんか？

開業30周年記念ヘッドマークをつけて運行しています

取り付け期間

9月29日（土）～
2019年10月1日（火）

取り付け場所

くま川鉄道の車両の連絡扉
（1両2カ所）に取り付け
※シール式



◀ヘッドマークデザイン

くま川鉄道30周年記念サービスを開始しました

内容 くま川鉄道1日乗車券を協力店舗や団体などで提示すると、お得なサービスが受けられます。

期間 9月29日（土）～2019年10月1日（火）
※協力店舗など詳しくはお問い合わせいただくか、くま川鉄道のホームページをご覧ください。

問合せ くま川鉄道株式会社（☎23-5011）

ホームページ <https://www.kumagawa-rail.com/>



レールがつなぐストーリー

一人一人、乗客のストーリーをつなぎ、人との絆や地域の魅力を教えてくれるくま川鉄道。人も思いも乗せてこれからも走り続けます。

くま川鉄道を利用する人たちの声



**優しさあふれる
「いってらっしゃい」**

人吉温泉～多良木まで通学に利用
橋本 龍太郎さん
（人吉市、多良木高3年）

通学で人吉温泉駅から多良木駅までの区間を利用していますが、始発は多くの学生が乗車し、ほぼ満員の状態です。定期券の確認をしてもらう駅員さんから毎日、「いってらっしゃい」「忘れ物ないね」など優しい言葉を掛けてもらえるのがとてもうれしいです。母も多良木高校出身で、鉄道を利用していたと聞いています。僕もくま川鉄道があったから、これまで多良木高校に通うことができたと思うので、これからも地域のために存続してもらいたいです。



**たくさんの出会いが
生まれた24年間**

多良木～人吉温泉まで通勤に利用
柳川 テル子さん
（多良木町）

平成6年から通勤で利用しています。くま川鉄道ではたくさんの出会いがあります。高校生は遠くから私を見つけて席を譲ってくれるし、卒業した子と久しぶりに会うと「結婚したよ」なんて言ってくれたり、観光客に沿線を案内したら絵手紙を送ってくれたりと楽しいです。くま川鉄道は便利ですよ。車を持っている友達にも勧めて、一緒に温泉に行っています。安心してお酒も飲めるし（笑）。高齢者にとってなくてはならない交通手段です。くま川鉄道をいつまでも続けてほしいです。



**将来の子どもたちのために
走り続けてほしい**

高校生時代に通学手段として利用
尾方 奏女さん（水上村）
子どもたち（左から汰星君、いとみちゃん、といろちゃん）

高校生の頃、くま川鉄道を利用していました。車内では友達と色々な話をしたり、車両先頭からの景色を眺めたりした思い出があります。高校卒業後は利用する機会がありませんでしたが、長女が3歳の時に観光列車に乗りました。久しぶりの利用でしたが、子どもとずっと外を眺め、車だと見過ごしてしまいそうな人吉球磨の田園風景をゆったりと楽しめました。将来、通学で利用することになる子どもたちのためにも、これからもくま川鉄道に走り続けてほしいです。



**弟が教えてくれた、くま川
鉄道やふるさとの価値**

帰省のたびに乗車するくま鉄ファン
高崎 美智子さん
（東京都＝球磨村出身）

くま川鉄道が開業した頃、私はすでに大学生で人吉球磨を離れていました。ふるさとを走るこの鉄道の魅力に気付いたのは、鉄道ファンだった亡き弟のおかげです。弟は私が実家に帰るたびにいつもあちこちに連れていってくれて、くま川鉄道や肥薩線の魅力や歴史を教えてくださいました。毎年、東京の日比谷公園で開催される「鉄道フェスティバル」に私も応援に行きますが、くま川鉄道のブースはいつも大人気です。大切な地元の足「くま川鉄道」、帰省のたびに乗るのが楽しみです。